

第4学年 総合的な学習の時間

1、 単元名	相っ子 歴史 マスター		
2、 単元の目標	相原の歴史や現在の様子を調べることで、相原の特徴（よさや課題）に気づき、地域の 一員（相っ子）として学んだことを自らの生活や行動に生かすことができるようにする。		
3、 単元の評価 基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
	目的に応じて方法を考え て調べている。 相原の特徴を理解している。	伝える相手や目的に合わ せて分かりやすくまとめ表 現している。	多様な立場の人の考えを生 かしながら協働的に探究活動 に取り組もうとしている。

4、指導計画（全 時間）

過程	時間	学習活動
一次	11	<p>◎相原の歴史を調べよう。</p> <p>①昔の相原の生活について振り返る。</p> <p>②③④諏訪神社の調査をしてまとめる。</p> <p>⑤自分たちで調べるテーマを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活、建物、神社・寺、自然など <p>⑥⑦テーマごとに調べ学習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館、インターネット <p>⑧⑨⑩調べたことを年表にまとめる。</p> <p>⑪発表会をする</p>
二次	10	<p>相原の未来を予想しよう。</p> <p>①発表会を振り返り新たな課題を考える。（今回は相原の未来について考える）</p> <p>②プログラミング言語を用いて未来についてイメージをふくらませる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム言語ビスケットを使用する。 <p>③④調べるテーマを決め、目的に応じた調べ方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活、公共施設、自然、交通、商業施設など ・思考ツールを用いて整理する。 <p>⑤⑥⑦⑧フィールドワークに行ったりインタビューをしたりして調べる。</p> <p>⑨⑩相原の特徴をまとめ、未来の相原について考える。</p>
三次	8	<p>◎よりよい街になるために自分たちができることを考えよう。</p> <p>①未来の相原を振り返り、自分たちに何ができるのか考える。</p> <p>②③自分たちにできることを実現するための方法を調べる。</p> <p>④⑤計画書を立てる。</p> <p>⑥⑦自分たちにできることを実行する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街の清掃、自然の整備・活用、街のよいところPR など。 <p>⑧単元を振り返ってどのような力が身に付いたのか自己評価する。</p>

5、展開例

(1) ねらい

- ・相原のよいところや課題、気になるところを整理し、目指したい街の姿を考えることができる。

(2) 展開

時間	児童の活動	○支援 ☆評価
導入	・町探検を想起する。	○町探検で見たことや経験したことを全体で振り返る。
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">町探検を振り返り、テーマごとにこれから注目するポイントをまとめよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・町探検で感じた相原のよいところや課題、気になることを付箋に書き出す。 ・テーマごとに集まり、PMI シートに付箋を整理する。 ・全体で集まり、テーマごとの考えを全体で共有する。 ・テーマごとに分かれ、これから注目するポイントや目指したい相原の姿を話し合う。 	<p>○ワークシートをもとに思い出して書かせるようにする。</p> <p>○考えが似ているものを重ねたり、より多い意見を上にしたりと、話し合いながら PMI シート上で整理するように促す。</p> <p>☆目指したい相原の姿について PMI チャートをもとに、自分の考えを伝えたり、友達の考えを受け入れたりして、進んで友達と話し合っている。(発言・ワークシート)</p>
終末	・全体で集まり、テーマごとの考えを全体で共有する。	○新たに立てたテーマに対して自分たちができることを考えていくことを伝え、次の学習への見通しをもたせる。

6、学習材設定上の留意点（地域、ボランティアコーディネーターとの連携等）

- ・町探検に行く際、子供たちの意見をもとに、施設を選び、事前に駅やお店、大学等にインタビューや見学のアポを取った。
- ・ボランティアコーディネーターの大磯さんと中島さんに連絡をして付き添いをしていただいた。
- ・